

笑顔とがんばりの町

おのまち議会だより

152号

平成29年
11月13日発行



「町づくりへのご意見ありがとうございました。」
(町民・議会懇談会)

主な内容

定例会9月会議の結果 …………… 2	議会活動トピックス…………… 14
町政を問う 5人が一般質問 …… 5	8月～10月の議会活動日誌 …… 15
追跡・あの一般質問を検証 …… 11	町民の声 …………… 16
行政調査レポート…………… 12	

平成29年度各会計補正予算

各会計の補正予算額は、下の表のとおりです。
 一般会計の収入と支出において、収入では町税や地方交付税、国県補助金などが増額となりました。歳出では、林業専用道整備町負担金、スクールソーシャルワーカー派遣事業費などが増額となりました。
 また、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、浄化槽整備推進事業、文化・体育振興基金などの特別会計では、現時点での所要の補正を行ったものです。

※1万円未満切り捨て

会計区分	補正額	補正後予算額	
一般会計	1億2346万円	53億9035万円	
特別会計	国民健康保険	▲1928万円	15億734万円
	後期高齢者医療	5万円	1億899万円
	介護保険	1144万円	12億7786万円
	浄化槽整備推進事業	483万円	9658万円
	文化・体育振興基金	17万円	268万円
水道事業	収益的支出	▲8万円	1億5775万円



◆IT教育推進事業小中学校パソコン更新業務契約の締結について
 小中学校の校務用パソコン等を更新するため、議会の議決を経て契約を締結するものです。予定価格が700万円以上の動産取得に係る契約は議会の議決が必要となります。

その他の議案

◆「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情

陳情者：全国森林環境税創設促進議員連盟
 会長 板垣一徳
 付託委員会：厚生産業常任委員会
 審査結果：継続審査

◆地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について

陳情者：日本労働組合総連合会
 福島県連合会
 田村地区連合会
 議長 白岩進一郎
 付託委員会：総務文教常任委員会
 審査結果：採択

※陳情の審査は、付託された常任委員会で行います。付託とは、議会の議決に先立ち、議員で構成する各常任委員会に審査を分割して任せることです。



定例会9月会議

9月7日～15日

平成29年小野町議会定例会9月会議は、9月7日から15日まで9日間の日程で開かれました。
 会議では、平成28年度各会計の決算、平成29年度各会計補正予算など20件の町長提出議案と報告1件、議員提出議案3件が提出され、議案はすべて原案のとおり可決しました。
 また、5名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをたえました。



▲予算決算常任委員会による現地調査(こまち浄水場)

◆平成28年度の9会計の決算を認定 全9会計 約82億円の支出を審査

※1万円未満切り捨て

会計区分	歳入総額	歳出総額	決算の主な内容	
一般会計	53億6709万円	51億6528万円	町政各般にわたる諸事業に要した経費です。	
特別会計	国民健康保険	15億4286万円	14億5653万円	国民健康保険に関する事業に要した経費です。
	後期高齢者医療	1億375万円	1億369万円	高齢者の医療給付に関する事業に要した経費です。
	除染対策事業	508万円	508万円	除染対策に関する事業に要した経費です。
	介護保険	12億1047万円	11億8190万円	介護サービスに関する事業に要した経費です。
	介護保険サービス事業	320万円	320万円	介護保険サービス計画・介護予防プラン作成業務などに要した経費です。
	浄化槽整備推進事業	7274万円	5991万円	町が浄化槽の設置と維持管理に要した経費です。
	文化・体育振興基金	453万円	436万円	文化・体育各団体へ活動補助金などに要した経費です。
水道事業	収益的収支	1億6691万円	1億5519万円	浄水場等の維持管理や減価償却費等の経費です。
	資本的収支	6529万円	1億3780万円	企業債償還金及び水道管の布設替えなどの経費です。

◆町の財政を診断 健全な段階で推移

地方公共団体の財政の健全性に関する比率の報告

法律の規定により、町の財政の健全性に関する指標が報告されました。数値は、いずれも危険な基準を超えておらず、財政状況は健全な段階で推移しています。

健全化判断比率(%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
小野町	-	-	7.7	-
早期健全化基準(黄色信号)	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準(赤信号)	20.0	30.0	35.0	

資金不足比率(%)

区分	水道事業会計	浄化槽整備推進事業特別会計
小野町	-	-
経営健全化基準	20.0	20.0

※実質公債費比率…普通会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率。数値が小さいほど健全
 ※将来負担比率…普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。数値が小さいほど健全
 ※小野町では実質赤字や資金不足がないことから、それに関連する指標は「-」と表示

議員提出議案

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第17条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県外に派遣することについて提案したものです。

― 議案提出者：宗像 芳男 議員

◆広報広聴特別委員会の設置について

議会だよりの編集及び発行、議会の広報広聴の充実のための活動を行うため設置したものです。

― 議案提出者：籠田 良作 議員

◆意見書の提出

陳情採択に伴い、意見書を内閣総理大臣ほか関係機関の長に提出することについて提案したものです。

○ 地方財政の充実・強化を求める意見書

― 議案提出者：水野 正廣 議員

総務大臣 財務大臣
経済産業大臣
内閣府特命担当大臣

※意見書とは……
意見書とは、「地方公共団体の議会は、公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる（地方自治法第99条）」とされています。公共の利益の増進を図るため、議会に認められている権限です。

9月第1回会議を開催

9月27日に平成29年小野町議会9月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

契約案件

◆旧アルパイン独身寮改修(機械設備)工事請負契約の締結

旧アルパイン独身寮の改修工事のうち機械設備工事について、議会の議決を経て契約を締結するものです。



▲改修工事が始まる旧アルパイン独身寮

5人の議員が一般質問

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。(11月下旬掲載予定)

会田 明生 議員 6ページ

- ・小野町地域防災計画の見直しについて
- ・災害危険性等の住民への周知について
- ・避難行動計画について
- ◆ 雇用確保対策について
- ◆ 小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について

渡邊 直忠 議員 7ページ

- ◆ 二元代表制における政策策定について
- ◆ 奨学金制度創設について
- ・町営バス(コミュニティバス)運行について
- ・内部統制制度導入について
- ・監査制度の充実強化について
- ・若者定住促進のための多様な住宅政策について
- ・学校外教育の充実について

竹川 里志 議員 8ページ

- ・国民健康保険制度改革に伴う具体的な変更点について
- ◆ 小野町の国民健康保険の状況について
- ・特定健診・がん検診受診率について
- ◆ 小野町の健康づくりの施策について
- ・小野町の空家の現況について
- ・空家の活用について

田村 弘文 議員 9ページ

- ・人口減少が進む中での小野町づくりについて
- ・既存企業等への支援について
- ◆ 新たな小野町教育環境整備の基本方針について
- ◆ 小学校統合後の新校舎建設の場所・建設時期について

籠田 良作 議員 10ページ

- ◆ 小野インターチェンジ周辺環境整備構想について
- ・小野インターチェンジ周辺環境整備構想策定の現在までの進捗状況について
- ◆ 旧アルパイン独身寮の整備運用について

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示しています。
・村上昭正議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	渡邊直忠	会田明生	竹川里志	宗像芳男	田村弘文	籠田良作	水野正廣	遠藤英信	久野峻	佐藤登	吉田康市
定例会9月会議	町長	平成28年度小野町一般会計・各特別会計等歳入歳出決算の認定 9件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成29年度小野町一般会計・各特別会計等補正予算 7件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町避難行動要支援者名簿に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		IT教育推進事業小中学校パソコン更新業務契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		町有財産の無償譲渡についての議決の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	議員	議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		広報広聴特別委員会の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
会議名	9月第1回	町長	旧アルパイン独身寮改修(機械設備)工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。
※紙面の関係上、補正予算関係議案は集約して掲載しています。個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

問 二元代表制における政策策定について

答 提案は業務の参考にしている

町長 各議員の一般質問などのご意見やご提言は、業務の参考としております。重点施策の決定については、各課の考えをもとに小野町振興計画審議会にて決定しております。

政策づくりについては、アンケートや町長対話会など、最新の町民の声を政策に反映

問 一般質問における政策提言の活用や各課の重点施策の決定までの過程、政策づくりに町民の意見を聞く場、取り入れ方法等、町長見解を伺います。



渡邊 直忠 議員



昨年6月から7月にかけて開催された町長との対話会

させるよう努めております。

再質問 一般質問や町長答弁等の議事録等を各課への配付や回覧等をしているのか、町長に伺います。

町長 議会での議論の内容は、各課長等から職員に伝達しております。「議会だより」の各課回覧やホームページでの会議録の閲覧により、業務の参考としております。

問 雇用確保対策について

答 支援制度見直しを検討している

町長 雇用に関しては、事業所支援から就業者への支援に切りかえる制度見直しを検討しています。また、小野高校生の町内企業への就職促進のため、合同企業説明会の開催や従業者の住居確保のため、旧アルパイン寮の一部を企業向けに貸し出すことも検討しております。

問 現在、町内立地企業、事業所においては、雇用人材不足の解消が喫緊の課題となっておりますが、町としてどのような支援策を考えているのか町長に伺います。



会田 明生 議員

町長 進行管理としては、担当課において各課等のヒアリングを行い、着実な実施を図っております。また、小野町地域創生総合戦略推進会議を開催し、事業計画や実施状況への意見や事業の評価を受けています。

再質問 数値目標に對しての達成状況につ

問 小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略を、实效性の高いものにする上で、数値目標管理は大変重要なものと考えます。本年度は計画の中間年度です。進行管理はどのようになっているのか町長に伺います。

町長 確実的な数値目標の報告等につきましては、現在、把握していないということでご理解いただき、別の機会にお知らせをします。

再々質問 数値目標に對して、達成状況について整理するのか再度伺います。

いて、検証、分析、公表の考えについて再度伺います。

企画政策課長 小野町地域創生総合戦略推進会議の状況を、町のホームページ上で詳しく町民の皆様にお知らせをします。

答 中間年度の達成状況をお知らせする

問 小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について

再々質問 中間年度ということもあり、数値目標についての達成状況等を公表する計

企画政策課長 平成31年度の目標値を定めておりますが、中間の状況について今後お知らせをしたいと考えております。

面があるのかどうかということ再度伺います。



小野町地域創生総合戦略推進会議の様子

問 奨学金制度創設について

答 国の仕組みや他の自治体の例を調査、研究する

問 経済的理由により、就学が困難な方に対し学費を貸し付ける制度と基金造成を創設すべきと提言をしますが、町長の見解をお伺いします。

町長 若者定住の促進にも有効と考えられます。国の示す詳しい仕組みや他の自治体の例を調査、研究して参ります。



問 新たな小野町教育環境整備の
基本方針について

答 子供たちに最良の教育環境を提供する

教育長 教育委員会では、東日本大震災以降、校舎等の環境整備を優先的に行なったことが大きな要因との結論に至っております。また、教育委員会で

問 旧基本方針の小学校統合について、進まない状況だったのは東日本大震災への対応とあり、検討委員会の中でこのような結論に至ったのか、また、新しい基本方針策定に対する検討委員会からの提言について、教育委員会の中でどのような議論がなされたのか、教育長にお伺いします。

町長 新たな基本方針を十分に尊重し、将来を担う子供たちに最良の教育環境を提供して参りたいと考えております。



田村 弘文 議員

は、従来の方針の方向性を基本的に踏襲し、見直し検討委員会の提言を受け、小学校統合の時期の目標を平成32年4月と明示した改定を行ったものであります。

問 小学校の統合後の新校舎建設の
場所・建設時期について

答 町の財政的バランスを考慮して進める

問 統合小学校の校舎新築について、建設の場所、建設の時期について、どのような計画で臨んでいくのか、町長の考えをお伺いします。

町長 児童数の推移、学校校舎の住民開放や防災機能の付加など多目的な活用なども加味しながら場所の選定が必要と考えております。

また、建設時期につきましては、仮校舎となる小野新町小学校の耐用度や町施策全般の財政的なバランスを考慮しながら、検討をして参ります。



仮校舎となる小野新町小学校

問 小野町の国民健康保険の状況について

答 適正に運営されていると考えている

町民生活課長 試算中であり、2月に本算

再質問 保険料率の試算は県から示されているのか、小野町が納める保険料納付金、標準保険料率がどう試算されているのか、お伺いします。

町民生活課長 小野町の医療費の県内順位は24位、給付費につきましてはは県内順位は公表されてお

問 小野町の国保の給付費や医療費について、県内の順位をお伺いします。



竹川 里志 議員

再々質問 国保税の収納率と収納率を上げるための施策をお伺いします。

町民生活課長 小野町の収納率は平成27年度が92.97%、県平均は93.10%で25位となっております。短期の保険証の交付により更新時の納税相談等も行いながら、収納率の向上に努めます。



も結びつくものと考えております。

問 医療費の抑制の問題、国保健全化を踏まえた健康づくりの体制になっているのかお伺いします。

町長 メタボリックシンドローム該当者予備軍等の方を対象とした健康栄養教室などの開催、高齢者を対象とした各地区での健康相談などを実施しており、国民健康保険の健全化にも結びつくものと考えております。



生活習慣病予防のための健康栄養教室

問 小野町の健康づくりの施策について

答 健康栄養教室など
各種事業に取り組んでいる

追跡

どうなった？ あの一般質問を検証！

過去の一般質問から「検討したい」という答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応を検証します。

中小規模事業者の経営力強化への応援について

質問

小野町の経済社会、雇用を支える存在として極めて重要な役割を果たしている中小規模事業者等の方の経営力強化等の支援について、どのように考えているのか、町長の考えを伺います。

(平成27年定例会6月会議)

答弁

小野町商工会をはじめ関係機関との連携のもと、中小規模事業者の経営基盤安定と経営力強化の支援を図ります。また、中小規模事業者への必要な支援策を的確に捉えるため、小野町商工会、小野町企業立地等懇談会、小野町異業種交流会など、事業経営者等との意見交換を積極的に行い、中小規模事業者が望む支援策を検討していきます。



昨年2月に東邦銀行と「町内企業の発展を支える仕組みづくり」などの項目について包括連携協定を締結しました。包括連携事業の一つとして、中小規模事業者の後継者や創業を希望する方を対象に「次世代創業塾」を開講し、経営計画の立案や経営環境の変化を踏まえた対応策についてのセミナーを行いました。

また、中小規模事業者の売り上げ向上と地域経済の活性化を図ることを目的に商工会が実施した「小桜ちゃんプレミアム商品券発行事業」の支援を行いました。

今後も関係団体と連携を図りながら中小規模事業者が望む支援策を行っていきます。

その後



▲東邦銀行との包括連携協定の締結

問

小野インターチェンジ周辺整備構想について

答

構想を策定し、実現できるよう進める

町長 町長は、小野インターチェンジの周辺開発について、具体的な考えがあれば伺います。
町長 周辺開発についての私の考えですが、地元農産物などを販売する直売所や、これに併設する形で、農産物加工場、健康づくりや交流の場としての温浴施設、防災拠点施設の機能を備えたコンベンション施設などを考えております。あり方については、今後の検討課題としております。



籠田 良作 議員



構想策定が進む小野インター周辺

再質問 現在の町長の考え方を、周知していくほうがいいのではないかと思いますが、その点をお伺いします。

町長 町民の皆さんと一緒に検討する委員会等をつくり、構想実現に向けていきたいと考えております。

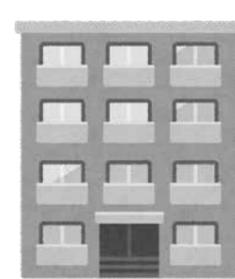
答

町の情報発信拠点などを整備する計画とつなげる

町長 旧アルパイン独身寮の主な整備内容ですが、1階は、町の情報発信拠点、移住希望者等の相談スペース、地域おこし協力隊などの活動拠点、レンタルオフィス等としております。

町長 旧アルパイン独身寮の主な整備内容ですが、1階は、町の情報発信拠点、移住希望者等の相談スペース、地域おこし協力隊などの活動拠点、レンタルオフィス等としております。

町長 旧アルパイン独身寮の主な整備内容ですが、1階は、町の情報発信拠点、移住希望者等の相談スペース、地域おこし協力隊などの活動拠点、レンタルオフィス等としております。



管理方法や家賃の設定については、今後、関連する条例等の提案を予定しています。

問

旧アルパイン独身寮の整備・運用について

旧アルパイン独身寮の整備・運用について



▲兵庫ナカバヤシ(株)でにんにくの播種状況を視察

中山間地域の企業誘致の取組
中山間地域の課題の一つに、農業の担い手確保と農地の保全があげられます。小野町においても、これらの課題を解決するための環境づくりが求められているところです。

企業対策特別委員会は、企業誘致のあり方、関西方面における企業立地動向の調査のため、兵庫県養父市、朝来市、福島県大阪事務所を訪問し、意見交換を行いました。

兵庫県養父市では、国家戦略特区(中山間農業改革特区)による規制改革で、この問題を解決する

兵庫ナカバヤシ株式会社は、製本専用工場として操業していましたが、製本業の閑散期における業務の平準化を図るために、にんにくの生産に着手。耕作放棄地の取得から、土壌改良、試験栽培を経て耕作地も拡大中。本年度は、近隣の農業高校より、農業としては初の採用をし、中山間地域の持続可能な農業の担い手となりつつあります。

取組みが始まっています。取組みの一例に、企業による農地取得の特例があります。この特例を受け、農業分野へ進出したのが、兵庫ナカバヤシ株式会社です。兵庫ナカバヤシ株式会社は、製本専用工場として操業していましたが、製本業の閑散期における業務の平準化を図るために、にんにくの生産に着手。耕作放棄地の取得から、土壌改良、試験栽培を経て耕作地も拡大中。本年度は、近隣の農業高校より、農業としては初の採用をし、中山間地域の持続可能な農業の担い手となりつつあります。

また、工業団地を持つてない養父市では、学校の統廃合により遊休化している施設への企業誘致に力を入れており、市内の12校の廃校のうち、6校へ企業が進出しています。

朝来市は、兵庫県のほぼ中央に位置し、交通の要衝となっている一方で、「通り過ぎのまち」となることも懸念されています。

朝来市では、優良企業の相次ぐ撤退という状況を受け、計画的な経済振興施策を進めるため、朝来

年度から28年度までの3年間に31名の方が就農しています。

福島県内の市町村においても、独自の新規就農支援策を講じており、新規就農者への支援策が手厚いのは、二本松市・喜多方市・会津美里町などがあります。

小野町でも夢のある農業者育成推進事業の中で、新規就農支援として、就農した日から満3年を経過するまで計60万円の助成金が支払われますが、その他の支援策は国県の事業のみとなっています。

新規就農者の経営安定を図るためには、就農後3年間位の支援策は必要なので、他市町村の支援策を参考に小野町独自の支援策を講じ、新規就農者確保に努めるべきだと感じました。



▲企業誘致の取組について説明を受ける(朝来市)

市経済成長戦略を策定。地域経済発展のための総合的な支援を行っています。

産業支援機能充実強化プロジェクトでは、市内の事業者を元気に育て、内発的産業の活性化を図るとともに、地域資源を活用し産業につなげることで外貨を獲得する仕組みの構築を目指しています。

キャリア教育、人材確保育成推進プロジェクトでは、ハローワークと協定を結び、連携しながらUIJターンを希望する学生をはじめとする就労支援を進めています。

また、朝来市と同様に小学校の統廃合により閉校となった施設を事業用地として公募し、企業誘致を行っています。

産業の活性化は、地域にとって大変重要です。企業誘致、既存企業の安定操業のため、当委員会としても全力で取り組んでまいります。

企業誘致、国家戦略特区の取組等について調査

【調査先…兵庫県養父市、朝来市、福島県大阪事務所】 実施日…平成29年10月4日～6日



▲新規就農者促進対策事業について説明を受ける

厚生産業常任委員会の行政調査は、新規就農者へ町独自の支援策を行い、新規就農者確保に大きな成果を上げている、山形県飯豊町の農業に対する各種施策を調査しました。

飯豊町は、福島県喜多方市とも隣接している典型的な中山間地域です。主な農産物は、水稲・畜産・アスパラガス・施設園芸であり、畜産では米沢牛の4割は飯豊町で生産しているとのことでした。就農者数は約800名でうち認定農業者

数は217名(うち女性9名、法人が12)となっています。

新規就農者受け入れ態勢として、東京等で開催される農業関係のフェアに、飯豊町のブースを設けて相談業務を行い、ブースに来られた方に対してあらためて研修受け入れの案内を送付しているとのこと。

研修生支援策としては、旅費及び宿泊費の支援を行い、研修希望者の受け入れについては5農業法人が対応しています。研修希望者の要望を把握し、受け入れ農家農業法人と調整の上体験メニューを準備するそうです。なお、研修を受け入れする農家・法人等には研修費用の謝礼として一時間あたり1,000円を支払うとのことでした。

飯豊町独自の就農支援策としては下表のとおりです。

新規就農者、一ターン就農者、飯豊町独自の多くの支援策を講じて新規就農者の確保に努めています。

このような施策により平成26

年度から28年度までの3年間に31名の方が就農しています。

福島県内の市町村においても、独自の新規就農支援策を講じており、新規就農者への支援策が手厚いのは、二本松市・喜多方市・会津美里町などがあります。

小野町でも夢のある農業者育成推進事業の中で、新規就農支援として、就農した日から満3年を経過するまで計60万円の助成金が支払われますが、その他の支援策は国県の事業のみとなっています。

新規就農者の経営安定を図るためには、就農後3年間位の支援策は必要なので、他市町村の支援策を参考に小野町独自の支援策を講じ、新規就農者確保に努めるべきだと感じました。

就農支援策	
①	町外からの新規就農者で町内に居住する場合、家賃の年間負担額の2分の1又は24万円の低い額を3年間補助
②	町外からの新規就農者で町内の農地を賃貸借する場合、10アールあたりの賃借料と飯豊町参考賃借料の差額の2分の1又は1万円の助成
③	町外からの新規就農者で認定農業者等が農地を取得する場合、農地の10アールあたり単価の3分の1又は20万円の低い額を最大50アールまで助成
④	施設等の取得補助として、新規就農者または就農後3年以内の農業者が、園芸ハウス等の新設を行った場合施設取得費の1パーセント補助
⑤	認定新規就農者が、農業経営に必要な30万円未満の農業用機械、設備の導入費用の3分の1を補助



▲意見交換の様子

企業対策特別委員会委員長 会田 明生
副委員長 田村 弘文
委員 吉田 康市
委員 久野 峻
委員 水野 正廣
委員 籠田 良作
議長 村上 昭正

厚生産業常任委員会委員長 田村 弘文
副委員長 竹川 里志
委員 村上 昭正
委員 佐藤 登
委員 久野 峻
委員 渡邊 直忠

議会活動日誌

8月

- 5日 おのまち"交流"フェスティバル
- 6日 小野町議会議長杯ソフトボール・家庭バレーボール大会
- 10日 月例全員協議会
議会改革特別委員会
議会広報編集委員会
- 11日 広野町サマーフェスティバル(広野町)
- 15日 おのまち夏まつり
- 21日 学校法人郡山開成学園との包括連携に関する協定締結式
- 24日 町村議会正副議長研修会(福島市)
(株)アブクマ小野工場内覧会
- 25日 議会改革特別委員会

9月

- 2日 特別養護老人ホームこまち荘敬老会
- 3日 こまちダムまつり
- 4日 議会運営委員会
全員協議会
- 7日～15日 小野町議会定例会9月会議
- 10日 小野町総合防災訓練
- 13日 障がい者日中一時支援事業所開所式
- 15日 月例全員協議会
- 18日 小野町敬老会
- 21日～22日 厚生産業常任委員会行政調査(山形県)
- 27日 例月出納検査
- 28日～29日 議会広報研修会(東京都)

10月

- 4日～6日 企業対策特別委員会行政調査(兵庫県・大阪府)
- 8日 古殿町議会との交流会(古殿町)
- 10日 磐越東線全線開通100周年記念式典
月例全員協議会
- 11日 公立小野町地方総合病院企業団議会定例会
- 13日 田村広域行政組合議会定例会(三春町)
- 16日～20日 町民・議会懇談会
- 22日 小野町消防団秋季検閲式
- 24日 例月出納検査
広報広聴特別委員会
- 25日～26日 総務文教常任委員会行政調査(岩手県)
- 27日 栃木県野木町議会運営委員会が調査に来町
小・中学校音楽祭
- 28日 小町ふれあいフェスタ
ふるさと小野町会との交流会

定例会12月会議は12月7日(木)から開会します。

一般質問は12月8日(金)の予定です。傍聴をお待ちしています!

※詳しくは小野町議会議務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

小野高校生が議会を傍聴

選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことに伴い、議会の役割などを学習するため、定例会9月会議の一般質問の傍聴に訪れました。

学校を離れての主権者教育ということで緊張もあったと思いますが、真剣な表情で一般質問を傍聴していました。



一般質問を真剣に傍聴する小野高校生の皆さん

議会活動トピックス

野木町議会の皆さんが調査のため来町(10月27日)

栃木県野木町の議会運営委員会の皆さんが、議会改革や予算決算に係る会議の運営方法についての調査のため来町されました。

【栃木県野木町】

栃木県の最南端に位置し、東京まで60kmと通勤圏となっている住宅街と田園地帯が美しいハーモニーをおりなしている町です。町のシンボルである煉瓦窯が国指定重要文化財となっています。



野木町議会運営委員会の皆さん

皆さんの声を聞かせて!

広報広聴特別委員会を設置

町民の皆さんから広くご意見、ご要望、ご提案などを直接お聞きすることになりました。

町づくりは、町民の皆さんの声を町政に反映させることです。具体的な提案はもちろんのこと、要望の中にも町づくりのヒントがあります。

議会活動をより町づくりと連動させるためには、町民の皆さんとの『広報』と『広聴』が車の両輪のような関係になることを目指します。

お気軽にお聞かせください! 委員会構成(委員:7名)

- 委員長:遠藤 英信 ●委員:佐藤 登、水野 正廣、宗像 芳男、竹川 里志、渡邊 直忠
- 副委員長:吉田 康市 ●オブザーバー:議長 村上 昭正

町民・議会懇談会の内容については、特集号でお知らせします。



町民の **声**

小野高校の皆さんから町や議会に対する思いなどを
お聞きしましたので、ご紹介します。



2-2
村上 麗奈さん

小野町には良い所がたくさんあると思う。それは、自然が豊かだということ、かの有名な

歌人である小野小町の出身地だということだ。また、リカちゃんキャッスルや夏井の千本桜なども小野町をPRするには十分な材料なのではないかと思う。だが、高校生の私が思うに、あまりその材料を上手く使いこなせているとは思っていない。

私から小野町を活気づけるために提案することは、まず、高齢者や小さな子供でも楽しく過ごせることのできる娯楽施設を作っていたらいいと思う。これは、町外から来た家族連れや私達学生、町のイベントなどに活用できるのではないだろうか。また、もっと小野町をPRすることのできる活動を積極的に行うことができれば良いのではないかと思う。

小野町民全員が力を合わせて小野町を盛り上げていければ、今よりもよい『笑顔とがんばりの町 小野町』になっていくのではないだろうか。



2-3
会田 未来さん

私は小野高校の生徒、そして小野町の住民として小野町に思うことは二つあります。

一つ目は、とても自然が豊かなところで。春になると、桜が満開になり、たくさん桜の木に囲まれた学校で授業ができることはとても幸せなことだなと思いました。授業の合間に、つい、ぼーっと見とれてしまうほど、素敵に咲いていて、とても魅力的です。

二つ目は、地域の方々の優しさです。私は、家の都合で送迎が難しい時にタクシーを利用することがあるのですが、その際に気さくに声を掛けていただいたり、自分の話に笑顔で答えていただいたり、乗っているだけで楽しくなり、仕事をするといいことは笑顔が大切なのだなと思いました。小野高生の一人として、小野町の住民として、これからも、自然が豊かで、地域の方々が元気に笑顔でいられる町になってほしいなと思いました。

• あとがき •

「小野町の抱える課題と地域活性化」として人口減少、少子高齢化、商店街衰退などの広範な行政課題に的確に対応していかねければなりません。そのためには、行政能力や財政基盤をより一層充実していくことが必要です。特に小規模町村は行政水準や財政力、行政運営の効率性等が厳しい状況にあり、今後難しい局面も予想されます。行政や議会はもとより町民の方々が自らの地域の現状と行政課題を踏まえながら、これからの小野町はどうあるべきか協働により幅広い視点から真剣に検討すべき時期と考えます。

活性化施策として、町は小野IC周辺開発等により集客促進を図り、交流・定住・産業・観光等の振興につなげたいとしています。10年後、20年後を見据えた戦略の下に施策と事業を実施することの重要性が大事だと思えます。

広報広聴特別委員会委員
渡邊 直忠



この印刷物は、FSC®の基準に従って
認証された適切に管理された森からの
木材を含んだ用紙で印刷されています。

平成29年
11月13日発行

152号

発行者／福島県小野町議会
編集／広報広聴特別委員会

〒963-3492
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻2

☎0247-72-2111